

1 教育目標

【教育理念】

自立・公共・共生・創造

【教育目標】

自ら考え、思いやりをもって行動する子どもの育成

【育てたい子ども像】

確かな学力（知）	進んで学ぶ子
豊かな心（徳）	明るく思いやりのある子
健康な体（体）	楽しく運動する子

2 本年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 研究主題

「学びたい」を引き出す授業づくり

—児童が自ら選んだり決めたりする学習を取り入れて—

(2) 研究主題について

本校児童は、決められたり指示されたりしたことには真面目に取り組むことができるが、学習に対して受け身的であり、自ら考えたり、新たなことに進んで取り組んだりすることを苦手とする児童が多いと考える。

一方、令和2年度より全面実施となった小学校学習指導要領では、児童生徒に目指す資質・能力を育むために、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を推進していくことが示された。また、一人一人の興味・関心や能力、進度に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることが求められている。

これらのことを踏まえ、一昨年度より、「『学びたい』を引き出す授業づくり」を主題とし、児童の「できるようにになりたい」「調べてみたい」「考えてみたい」などの学習意欲を引き出すことを目指し、実践を重ねてきた。これは、学習意欲を引き出すこと、いわば「主体的な学び」を引き出すことが「対話的な学び」「深い学び」の起点となると考えたからである。

そして、昨年度は、児童の興味・関心に沿った課題を提示したり、あえて誤答を提示したりするなど、導入場面に手だてを講じて実践に取り組み、児童の学習意欲を引き出すことができた。一方、導入場面で学習意欲を引き出すことができたが、その後の授業で教師主導の画一的な指導となり、児童の学習意欲を継続させることができなかった点が課題として挙げられた。

以上のことから、本年度は、導入場面で児童の学習意欲を引き出した上で、児童が自ら選んだり決めたりする学習場面を設定し、児童主体の授業に取り組んでいく。そして、実践を通して、本校の育てたい子ども像の一つである「進んで学ぶ子」の育成を目指していく。

(3) 研究の方法

学年部会で各実践の事前検討会、授業参観、事後検討会を行い、手だての有効性や課題について検討し、今後の授業につなげる。また、家庭学習について随時検討する。

ア 授業実践

(ア) 導入場面で学習意欲を引き出す

各単元や授業、活動の導入場面において、児童の「学びたい」という学習意欲を引き出すための手だてを講じて実践をする

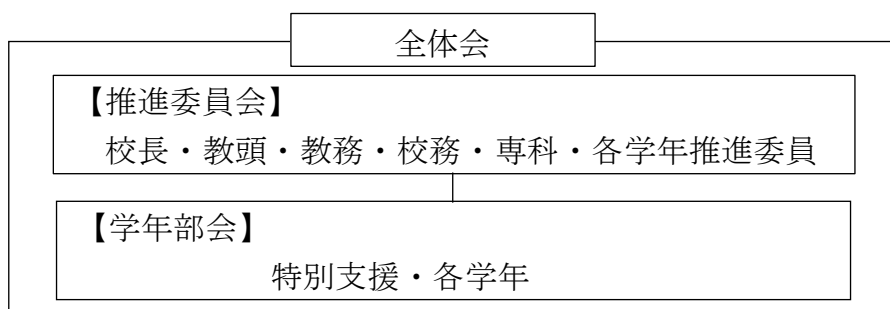
(イ) 児童が自ら選んだり決めたりする学習場面を設定する

各単元や授業の中で、児童の興味・関心等に応じて、学習課題や学習順序、学習する進度・量、学習方法等を自ら選んだり決めたりする学習を取り入れて実践をする。

イ 家庭学習

学習課題や学習順序、学習する進度・量、学習方法等を、児童自ら選んだり決めたりして家庭学習に取り組むことができるようにする。

(4) 研究組織



(5) 研究計画

月・日	内 容
4・5	推進委員会（推進計画案の検討）
～4・14	各学年で実践内容・方法について検討
4・17	全体会（推進計画案の検討）
4・25	片平っ子だより（学校だより）「5月号」で本年度の努力点の主題と推進計画、実践内容の説明
5・9～	各授業（事前検討会・授業の参観・事後検討会） 5～1月のいずれかの学年だよりで原稿作成（全授業実践の紹介）
9・11	授業研究（代表） 事前検討会
9・25	代表授業および授業研究（代表） 事後検討会
11・2	努力点授業参観
12・18	努力点推進委員会（最終報告書について）
1・20	各学年の最終報告書提出
2・5	最終報告会
2・22	片平っ子だより（学校だより）「2月号」で1年間の成果と課題を説明
2・29	努力点推進委員会（次年度に向けて）
3月	来年度の計画案作成